

2024年5月29日(水)

決算説明会

【2024年3月期決算説明】

証券コード:4531



有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

説明内容

i. 会社概要

ii. 2024年3月期決算と市場の状況

iii. 23中期経営計画と進捗

iv. ESG対応

会社概要

設立 1947年(昭和22年)11月4日

資本金 34億7千1百万円

事業所

- ・ 本社 東京都中央区
- ・ 東京研究所 東京都板橋区
- ・ 常磐工場 福島県いわき市
- ・ 大阪事務所 大阪府大阪市
- ・ 欧州事務所 独デュッセルドルフ

従業員 290名(2024年3月31日現在)

株式市場 東証スタンダード市場



企業理念

わが社は内外のあらゆる技術を駆使して
人の役に立ち人によるこぼれるものを創る

<https://www.yuki-gosei.co.jp/>

ユーキでつなぐ未来



Enriching Lifestyles

アミノ酸分野



Protecting Lives

医薬品分野



Improving the Future

化成品分野



<https://www.yuki-gosei.co.jp/>

アミノ酸

高品質なアミノ酸(グリシン、βアラニン)で人びとの暮らしをサポート



調味料用途

即席めん、お惣菜 等

日持ち向上用途

おにぎり、スイーツ
サンドイッチ 等

サプリメント

運動機能改善効果
睡眠 等

医薬用途

点滴、胃酸抑制 等

半導体用途

研磨剤(CMPスラリー) 等



動物向け用途

ペットフード、飼料 等

有機合成技術で 機能化学分野をサポート

化成品



半導体用表面処理剤

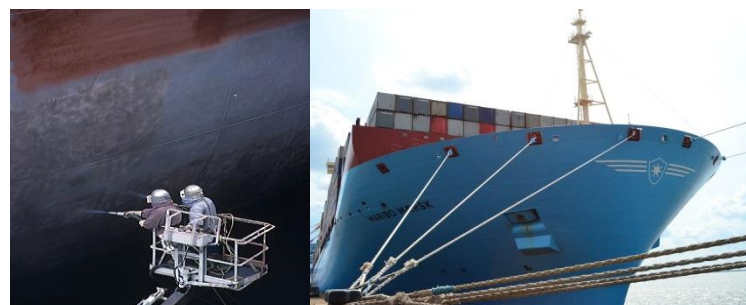
電子材料用ポリマー原料

農薬原料

機能性ポリマー原料

機能性触媒

自動車関連材料

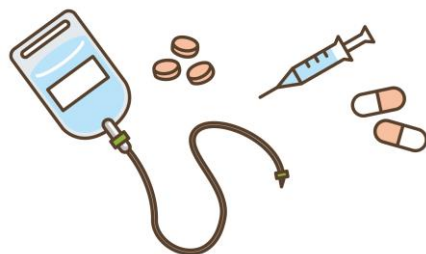


医薬品

医薬品原薬・中間体で
人びとの健康をサポート

医薬品原薬

- ・抗ヘパリン
- ・抗ウイルス
- ・抗結核
- ・抗がん
- ・受託ビジネス、新薬
- ・ジェネリック原薬



医薬品原料

- ・インシュリン製剤用原料

医薬品中間体

化粧品原料

説明内容

i. 会社概要

ii. 2024年3月期決算と市場の状況

iii. 23中期経営計画と進捗

iv. ESG対応

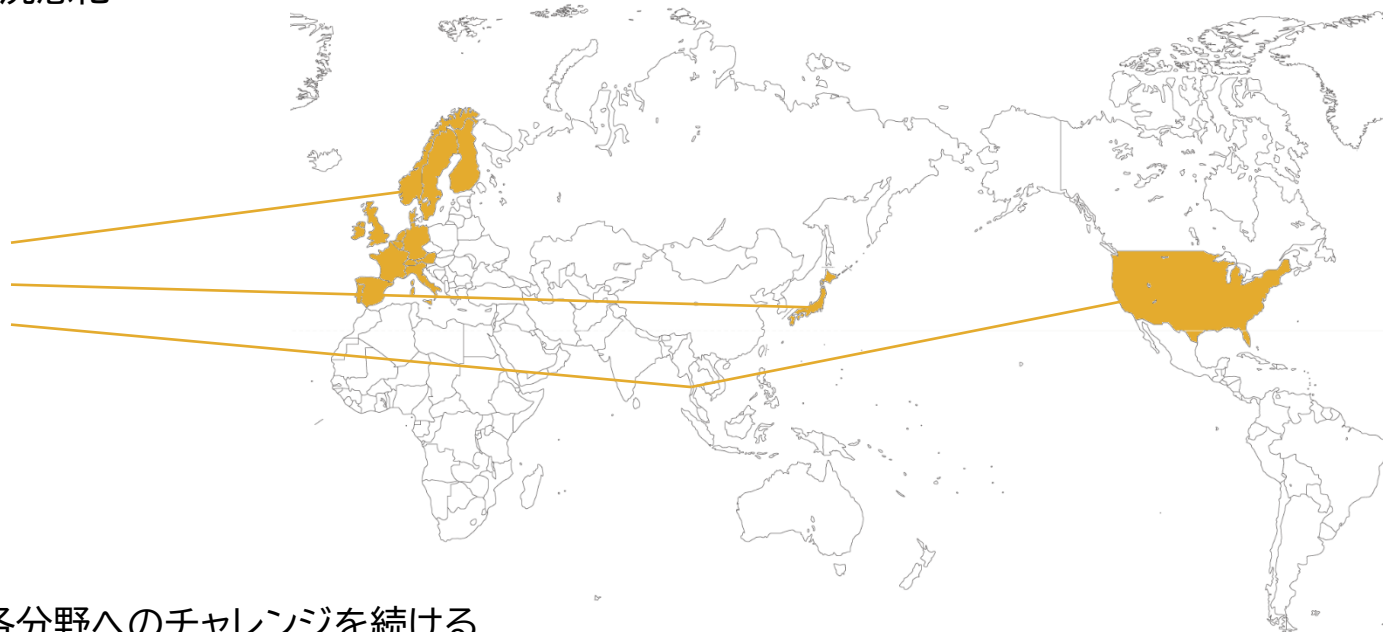
経済環境について

■ 外的要因とリスク

- ✓ 地政学リスク
- ✓ 為替の急激な変動
- ✓ 物価高騰と原燃料アップ
- ✓ 中国経済の低迷
- ✓ 不安定な世界情勢(ウクライナ、中東)とサプライチェーン
- ✓ 新興国の生産余剰に伴う化学品の市況悪化

■ 大手化学メーカーの状況2023

- ✓ EU・・・大手5社中3社が減益
- ✓ 日本・・・大手5社中3社が減益
- ✓ USA・・・大手5社中4社が減益



■ 以上を踏まえた当社方針

ポートフォリオの拡充

- ✓ テクノロジーでの差別化を図る 各分野へのチャレンジを続ける
- ✓ クオリティーカルチャー戦略の深化
- ✓ 半導体分野の需給調整は一時的とし、再び来る需要増に備えて投資を継続、さらなる品質向上(先端技術による差別化を狙う)
- ✓ 不断の事業構造改革は必須

2024年3月期決算

	2023年3月期 (百万円)	2024年3月期 (百万円)	対前期比(%)
	実績	実績	
売上高	12,839	12,932	+0.7
アミノ酸関係	5,017	4,237	▲15.5
化成品関係	3,396	4,450	+31.0
医薬品関係	4,425	4,245	▲4.1
営業利益	897	1,125	+25.3
経常利益	660	1,130	+70.9
当期純利益	556	776	+35.4
配当	7円/株	8円/株	+14.3
EBITDA	1,825	2,102	+15.1
EBITDAマージン	14.2%	16.3%	+14.1

2024年3月期決算のまとめ

営業利益は1,125百万円、利益率8.7%（前年度比+25.4%）

持続的成長のためアミノ酸事業への投資を実行

電子材料向け新製品がステージアップ、各製品でグローバルニッチのトップシェアを維持

✓ 営業利益対前年比 +25.4%

機動的な生産販売マネジメントにより効率的な生産活動を維持
クオリティーカルチャー向上に伴う意識改革と中堅若手人材のスキルアップ
による逸脱低減・評価減(ムダ)の減少

✓ ROA 4.6%(中計前倒し達成)、対前年比 +0.5ポイント

戦略的投資によって将来の成長性を確保、利益拡大へ

✓ 売上高対前年比 +0.7%

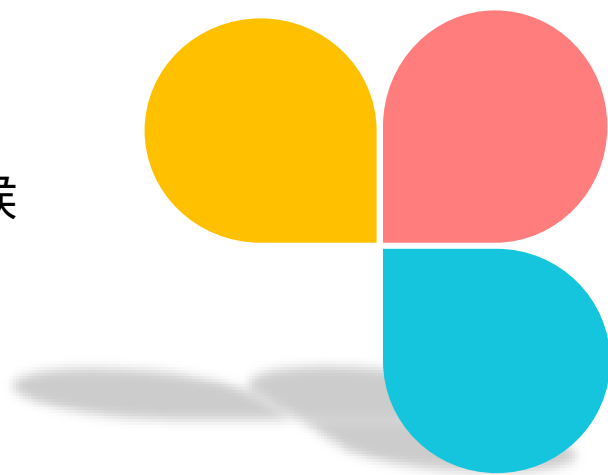
好調な化成品分野が全体を牽引
一時的な半導体関連業界の落込みにアミノ酸事業が影響も足元では回復の兆候

✓ 各製品分野でグローバルニッチのトップシェアを維持

パートナーとの協働によるマーケティング強化・継続

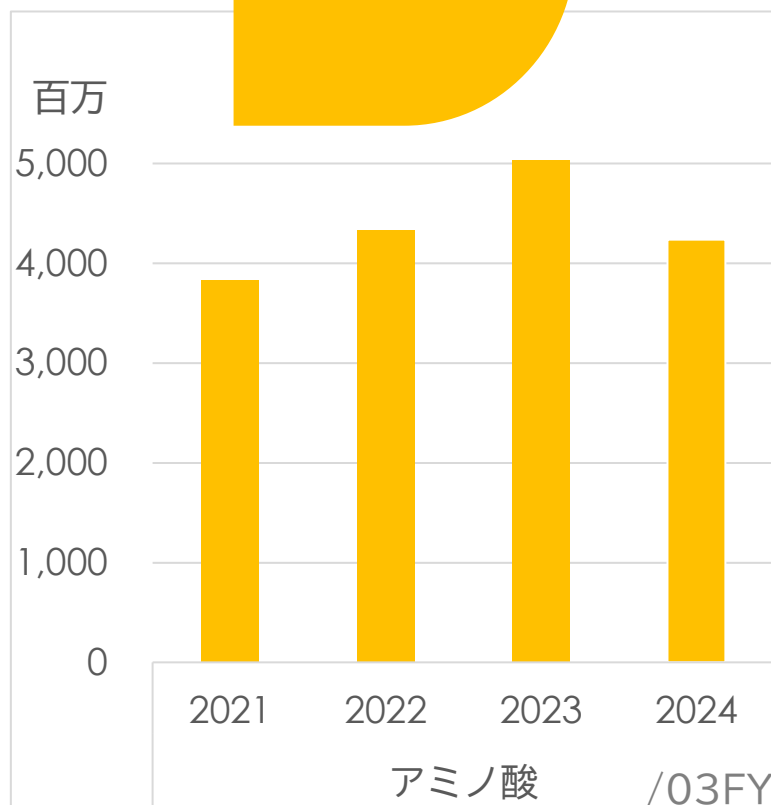
✓ 投資回収を見据えた健全な財務体質

自己資本比率 51.0%

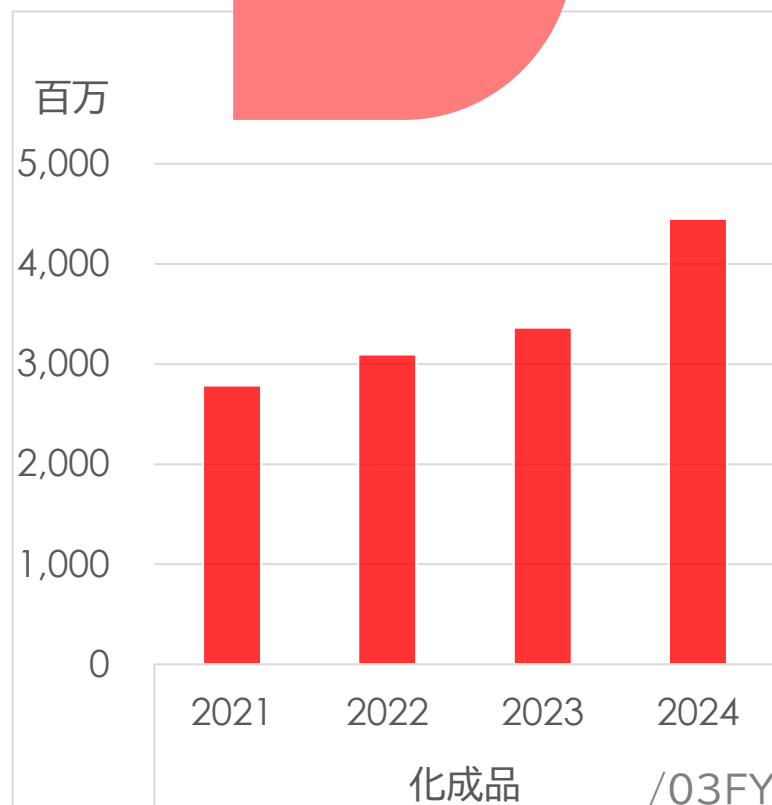


各マーケットの分析(分野別売上高推移)

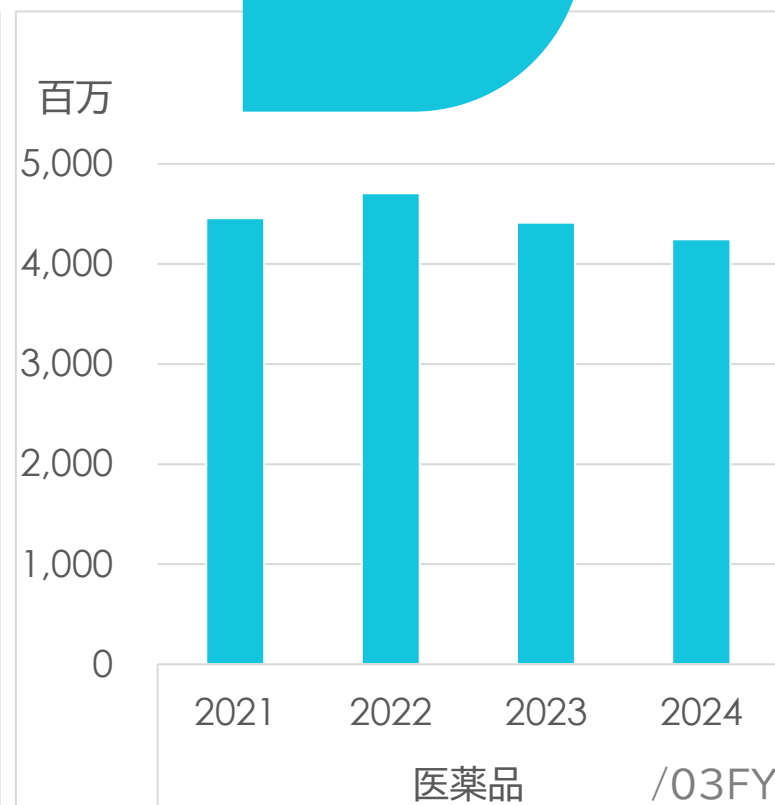
アミノ酸



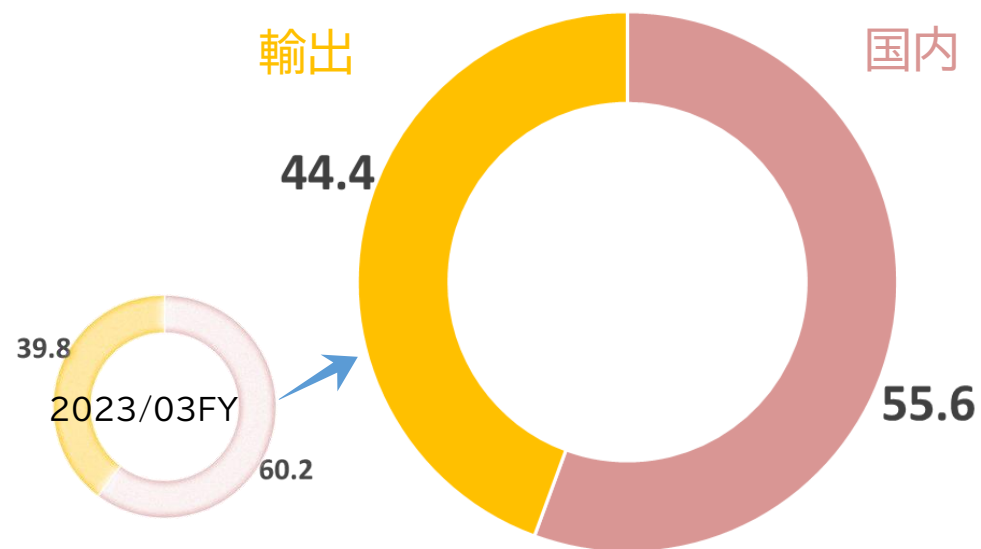
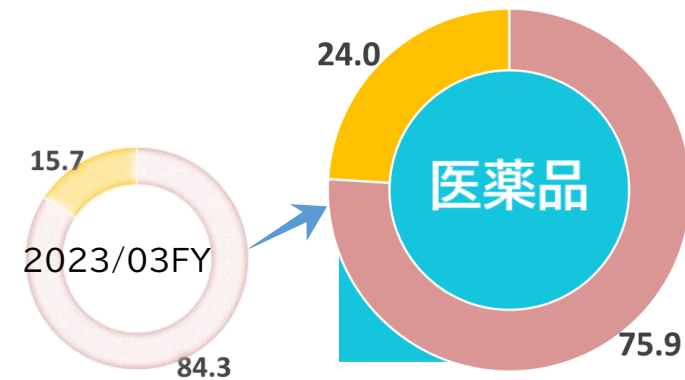
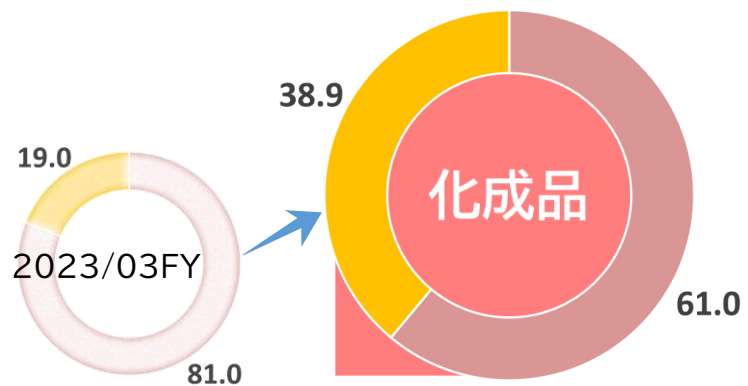
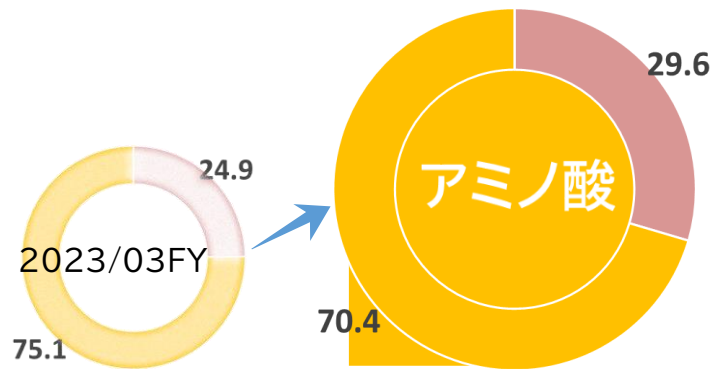
化粧品



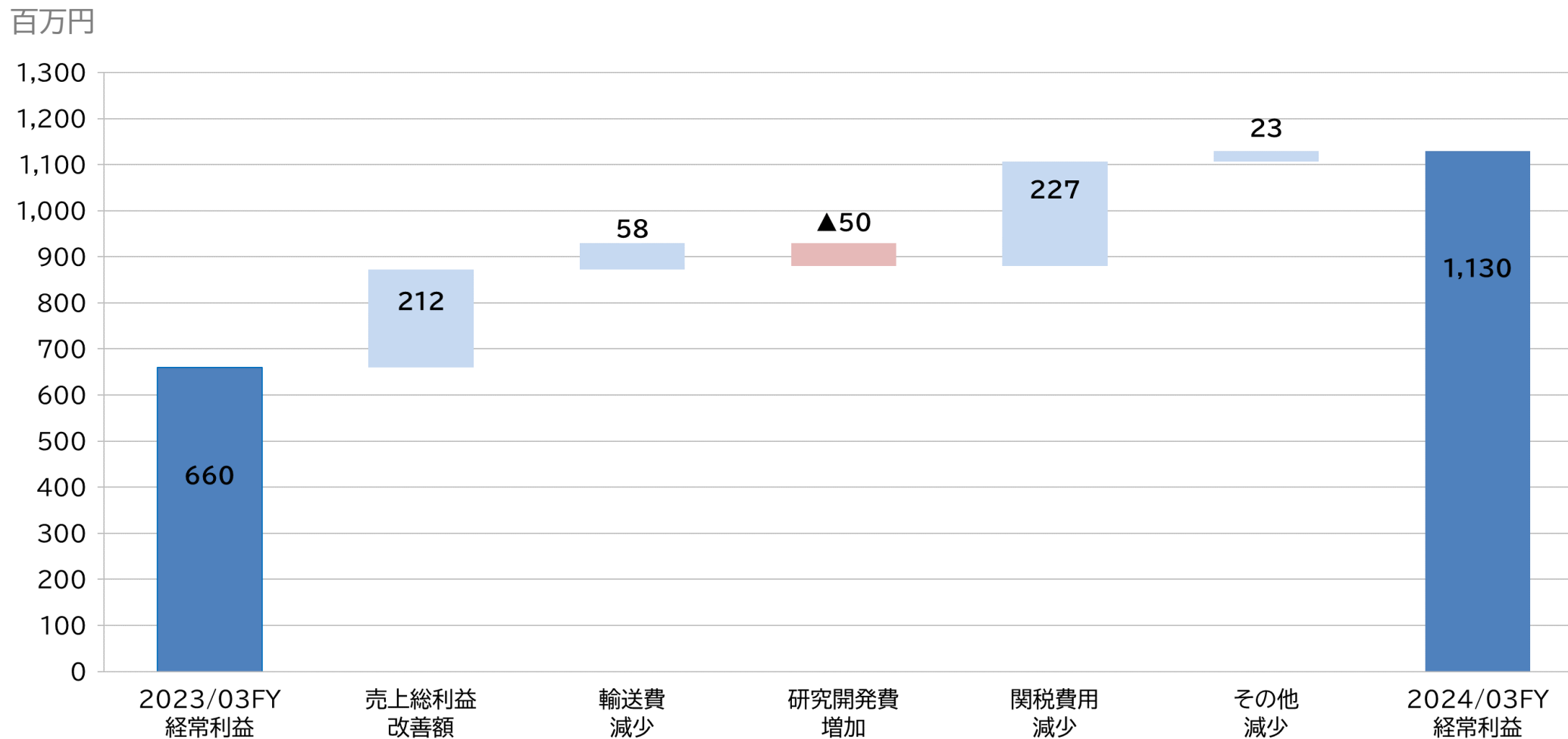
医薬品



売上高分析(分野別、国内外比率)



経常利益の増減分析



各マーケットの分析(昨年度の総括と今年度)

アミノ酸

医薬用途が伸長

アミノ酸事業の構造改革を実行中
グローバルマーケットでのトップ
シェア維持・拡大を図るべく、
47億円超の投資を遂行中

医薬用途は伸長
半導体用途は不調も今期は回復

医薬用途、半導体用途の安定供給
アンチダンピング税率低減
アミノ酸の新機能開発
サプリメント販売

化成品

堅調な海外需要に対応

電子材料向け新製品が拡大
既存製品需要が拡大

好調な分野として
船底塗料モノマー
自動車タイヤ向けモノマー
特殊触媒
半導体向け素材

農薬向けは不調、採算悪化

医薬品

海外需要の回復

クオリティーカルチャー戦略に基づき、
ポートフォリオを充実させ、顧客のグ
ローバル展開をサポート
CDMOビジネスの拡充へ

好調な分野として
新薬企業向けの原薬需要が伸長
グローバル原薬の堅調な需要

国内ジェネリック原薬の採算悪化
原料中間体は大型案件の需給調整に
より減少したが今期は回復へ

説明内容

- i. 会社概要
- ii. 2024年3月期決算と市場の状況
- iii. 23中期経営計画と進捗**
- iv. ESG対応

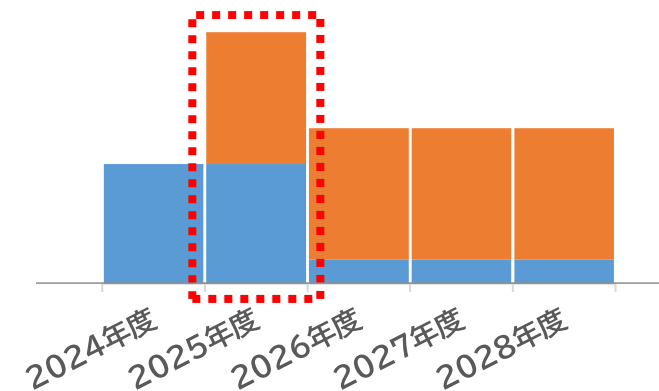
23中期経営計画

中期経営計画（年度別、百万円）

	2023年度 1年目	2024年度 2年目	2025年度 3年目
売上高	13,500	14,000	15,000
アミノ酸関係	5,800	5,400	6,100
化成品関係	3,500	3,600	3,900
医薬品関係	4,200	5,000	5,000
営業利益	840	1,000	850
経常利益	810	980	830
当期純利益	600	740	620
ROA	4.2%	4.5%	4.2%
EBITDA	1,831	2,205	2,321
EBITDAマージン	13.5%	15.7%	15.4%

一時的な償却負担増

※ 投資設備の
減価償却イメージ
■ 医薬品設備 ■ アミノ酸設備



23中期経営計画の進捗



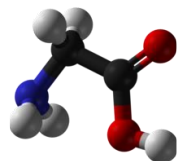
中期経営計画と実績 (年度別、百万円)

	1年目(2023年度)		2年目(2024年度)		3年目(2025年度)
	中計	実績	中計	予想	中計
売上高	13,500	12,932	14,000	14,000	15,000
アミノ酸関係	5,800	4,237	5,400	5,100	6,100
化成品関係	3,500	4,450	3,600	4,300	3,900
医薬品関係	4,200	4,245	5,000	4,600	5,000
営業利益	840	1,123	1,000	1,155	850
経常利益	810	1,130	980	1,140	830
当期純利益	600	776	740	800	620
ROA	4.2%	4.6%	4.5%	4.7%	4.2%
EBITDA	1,831	2,102	2,205	2,205	2,321
EBITDAマージン	13.5%	16.3%	15.7%	15.7%	15.4%
配当	-	8円/株	-	9円/株	-

23中期経営計画で挑戦するテーマ

アミノ酸分野

グリシン



βアラニン

機能開発
サプリメント

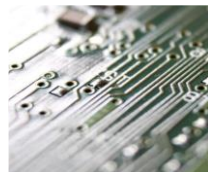


VACCINATION

医薬品原薬
半導体素材

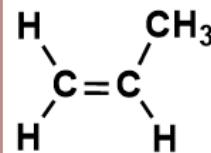
化成品分野

半導体素材



電子材料素材
(新規分野)

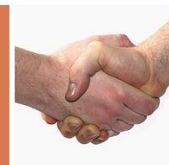
機能性触媒



機能性ポリマー原料

医薬品分野

受託ビジネス
(CDMO)



核酸・抗体医薬

原薬・中間体



医薬品原料

生産設備の増強

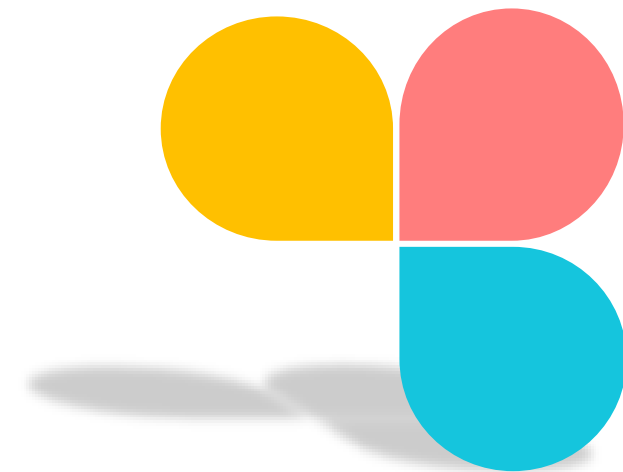
医薬品分野の新規設備

38億円を投じて医薬品原薬、重要中間体の供給拡大

2018年稼働開始



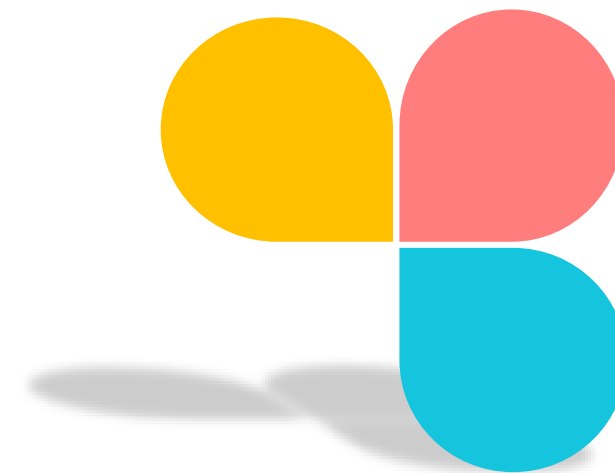
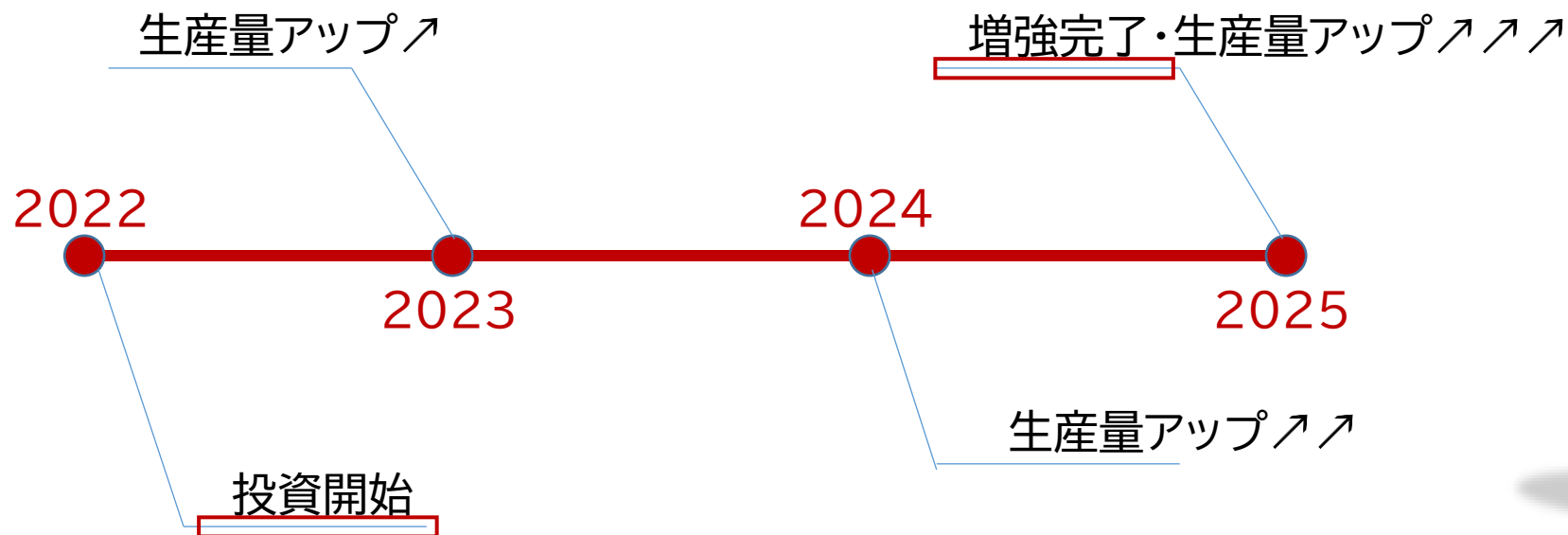
廃水負荷低減可能な
熱媒システム採用



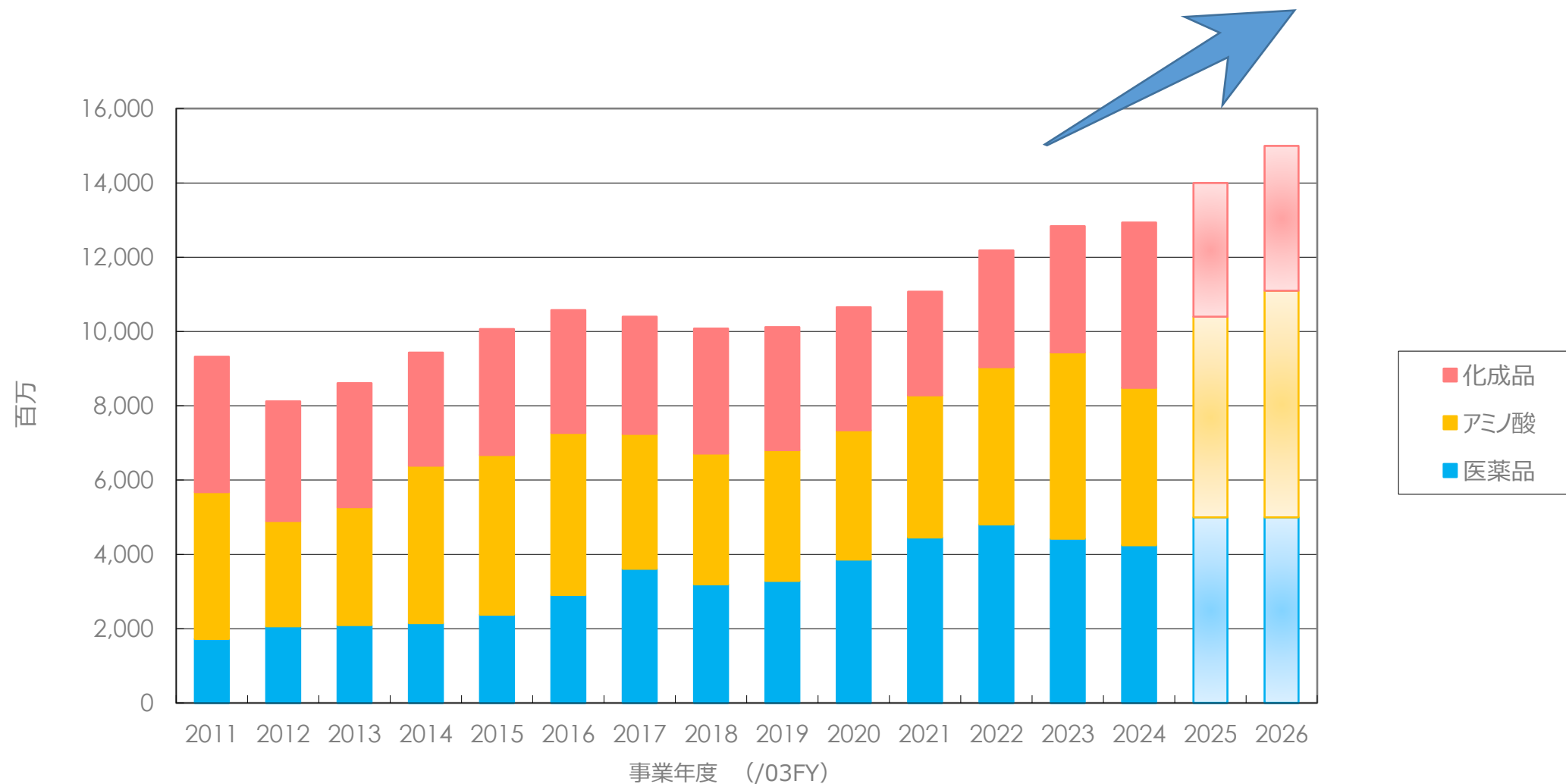
生産設備の増強計画

アミノ酸の生産能力拡大

47億円超を投じて医薬品分野、食品分野、半導体分野へ供給拡大
 投資期間:2022年~2025年



23中期経営計画を含めた業績トレンド



海外販売の強化



2022年度

海外売上高
51億円
比率
40%

2023年度

海外売上高
57億円
比率
44%

2024年度

海外売上高
72億円
比率
52%

2025年度

海外売上高
77億円
比率
51%



23中期経営計画、重点施策について

営業利益は7%目標(前倒しで達成)

持続的成長のためアミノ酸事業への投資を実行

将来の売上拡大を見据えた投資と、マーケティングによりグローバルニッチのトップシェアを堅持

I. クオリティーカルチャーの醸成

クオリティーカルチャーの向上により、業務スピードを上げ
事業継続性を通じた社会貢献を実現する

II. 企業価値の向上

研究開発型企业として技術力を磨くと共に、社内における行動変革により
労働生産性を上げ、高収益体質を目指す

III. アミノ酸分野の事業構造改革

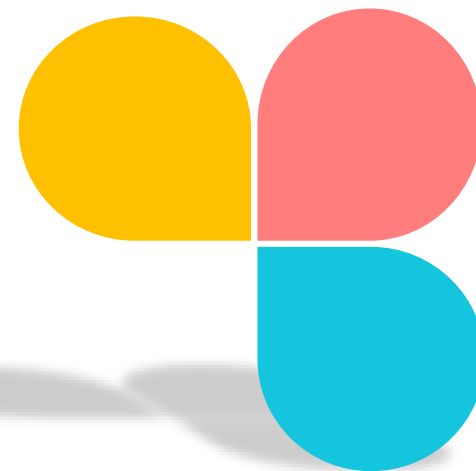
アミノ酸の事業構造改革を推進し、世界市場でのトップシェアを維持・拡大する

IV. 医薬品分野の受託ビジネス拡充

グローバル対応可能な原薬・中間体の優れた供給企業として、お客様からの
信頼を得ると共に受託件数を伸ばす

V. 化成品事業の拡大・再構築

新製品への挑戦と不採算品目の構造改革により、化成品分野を拡大・再構築する



クオリティーカルチャー戦略

『お客様にご満足いただける製品やサービスというのは、製品品質だけでなく、組織と個人の信念・行動』とし、クオリティーカルチャーを向上させ経営効率を上げると共に、事業継続性を通じて社会貢献を実現する

→生産ラインのミスを未然に防ぎ、ロスや廃棄を低減し、安定供給によって顧客の信頼を得て、収益を上げる

投資

QC center

DI system ; Empower 3

<https://www.yuki-gosei.co.jp/>

Official Track Records

Drug Substance	FDA DMF	Date
Glycine	#4730	07 Dec 1982
Isoniazid	#4772	07 Dec 1982
Trifluorothymidine	#12010	20 Jun 1996
Protamine Sulfate	#15421	01 Mar 2001
Trifluridine	#28479	20 Nov 2014

Regulatory work

原薬の輸出; 30か国以上

各国規制当局との経験

中期経営計画

基本方針

『激変する経済環境の中、主要製品の売上を拡大しながら、新製品を継続的に導入し、以て向こう10年間の成長に資する礎を築く』

アミノ酸分野の目標

アミノ酸(グリシン、βアラニン)のトップシェア維持拡大

化成品分野の目標

ニッチ領域における原料供給のリーディングカンパニー
(IT・半導体、船底塗料、特殊触媒)

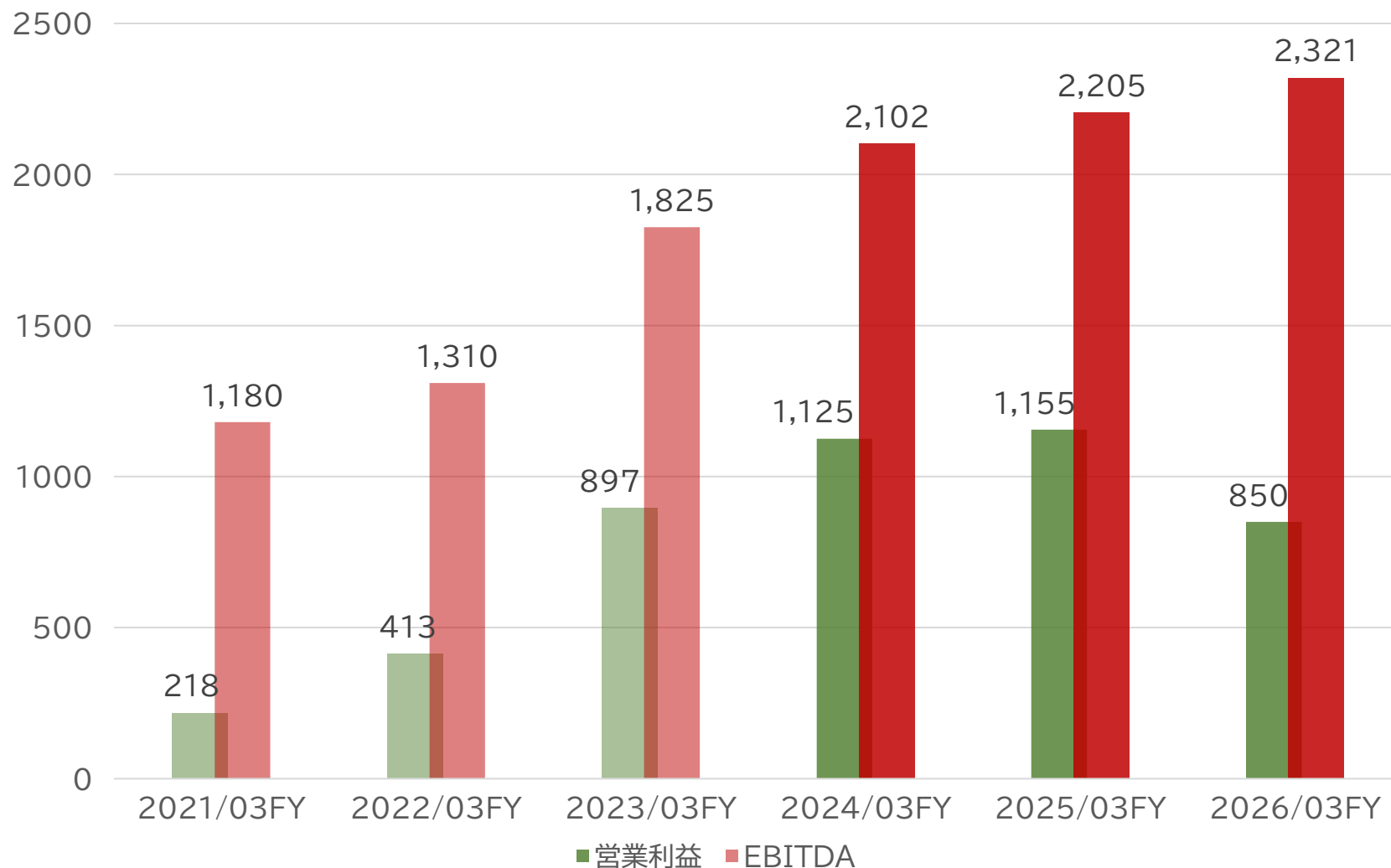
医薬品分野の目標

グローバル市場へ医薬品原料を届ける先端CDMO

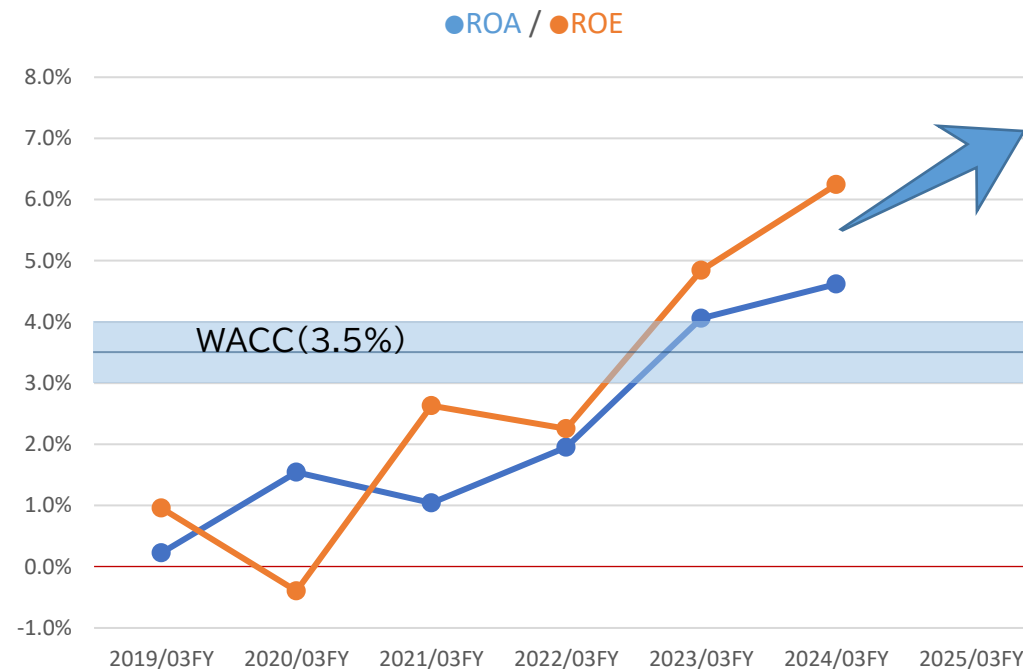
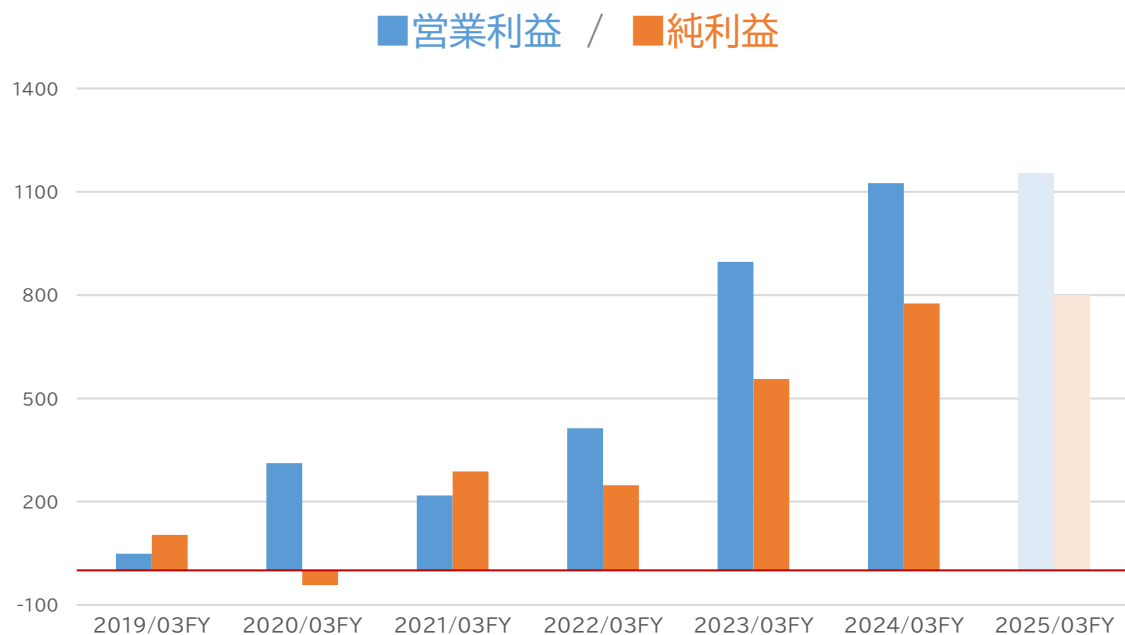


収益力(キャッシュ創出力)の強化

営業利益率7%目標、EBITDA2倍(対2021年3月期)を目標



資本コストを意識した経営の実現に向けて



実行中の施策

クオリティーカルチャーの醸成による
営業利益の拡大



今後検討すべき施策

資産の流動性向上(EBITDAマージンの向上)
自社株買い

説明内容

- i. 会社概要
- ii. 2024年3月期決算と市場の状況
- iii. 23中期経営計画と進捗
- iv. ESG対応**

ESGへの取組み

企業の社会的責任(CSR)基本方針

人の役に立ちよろこばれるものづくりに絶えず挑戦し、社会に新しい価値を提供し続けていくことで、人びとの快適な暮らしを支え、豊かな社会や環境づくりに貢献し、持続可能な社会の実現にお取り組みでまいります。

CSR REPORT 2023



日本語版

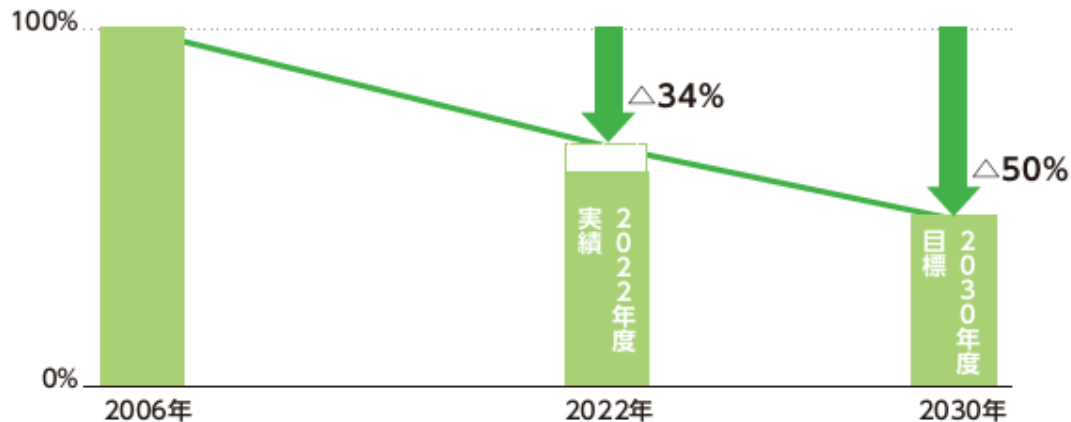


英語版



気候変動対策 Environment

中長期ビジョン



2022年度の実績

	目標	2022年度実績	削減率
CO ₂ 排出量	34%削減 (2006年度比)	19,196 t	40.2% 目標達成

CO₂排出量
2030年削減目標 **50%**



CO₂削減への取組み

LNGへの燃料転換(2007年)

コージェネレーションシステム導入(2014年)

カーボンニュートラルLNGの一部導入(2022年)

再生可能エネルギーへ切替(本社完了、2023年)



ESG経営の活動状況-1 Environment

LNGによる蒸気製造



LNGによる自家発電



ESG経営の活動状況-2 Environment

最新の活性汚泥処理装置
(膜処理法廃水処理)



活性汚泥の活用(肥料として)



サステナビリティレーティング

 Environment

 Society

 Governance



Ecovadis

サステナビリティレーティング『シルバー』を獲得

「環境」、「労働と人権」、「倫理」、「持続可能な資材調達」の4つの調査項目で、**上位25%**となる『シルバー』と評価



エンゲージメントサーベイ

Society



当社のサステナビリティまとめ



当社は、品質・安全・環境に関する経営基本方針に基づいて「自然と共生し、地球にやさしい企業」を目指しています

- 環境マネジメントシステム
- 2030年までにCO2排出量50%削減
- MBR方式によるクリーンな廃水対策
- LNG & 小型ボイラによるCO2対策
- コージェネレーションシステム
- 廃液焼却設備



安全・健康への取組み

- レスポンスブルケア活動
- 工場の改革活動
- 責任ある調達方針
- 健康づくりの増進
- メンタルヘルス対策の推進強化
- 過重労働への対応
- 約束された未来への対応**
(就労人口減少への対応)



地域社会との関わり

- フードロスへの対応、食品添加物を通じて
- 公益財団法人結核予防会への寄付
- 地域の環境活動に対する応援
- いわきFCへの協賛

アミノ酸のトピックス

-開発したサプリメントをECサイトで発売-



これまでにない新しい組み合わせ

グリシンのほのかな甘みで飲みやすくなったルイボスティーで
毎日の休息をしっかりサポート

国産グリシン



3000 mg

高品質”ユーキのグリシン”

オーガニック

ルイボスティー

有機栽培&ノンカフェイン

ユーキテクノサービス(当社100%子会社)を通じて販売中

特許出願中： ミトコンドリアの活性化、サーチュイン遺伝子活性化、グリシン入りルイボスティーなど



有機合成薬品工業株式会社

YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。